

カラス被害を受けないために

カラスってどんな鳥？

《カラスの特徴》

町には、ハシブトガラスとハシボソガラスがいます。ハシブトガラスは、少し大きくて、オデコが出っぱって、くちばしが太く、澄んだ声で「カアカア」と鳴きます。ハシボソガラスは、オデコが低く、くちばしは細くて、濁った声で「ガアガア」と鳴きます。

この2種類は習性や鳴き声がほとんど同じなので、以下では単に「カラス」と表記します。



ハシブトガラス



ハシボソガラス

《カラスの習性》

どちらも大変賢くて用心深い鳥です。雑食性で、人が食べるものはなんでも食べます。小動物を捕まえて食べたりもします。4～6月に大きな木の横枝に巣を作って3～4羽のヒナを育てます。秋から冬には、郊外の林や藪に集団でねぐらを作ります。

こんな苦情よくあります！



生ごみの袋を破って食べ散らかす。



鳴き声がうるさい。気持ちが悪い。



巣の近くを通る人(特に高齢者や子供)を攻撃することがある。

被害を受けないために！

○ 生ごみは決まった場所に、決まった時間に出してください。

カラスは大変早起きです。

前日からのごみ出しは、**カラスの恰好の朝食**となります。

○ ごみ置き場ではカラスネットの使用が効果的です。

カラスネットは、カラスがつつきにくい目の細かいもので、ごみ全体を覆うことでカラスがごみを荒らしにくくする効果があります。

○ 巣がある木には近づかないようにしましょう。迂回できない場合は、素知らぬふうにして素早く通り過ぎましょう。

あまりひどいときは、**帽子をかぶるか、傘をさしてください。**

○ 攻撃の方法は、後ろから、近くまで飛んできてすぐ身をひるがえす「おどし飛行」だけで、突つつくようなことは、まずありません。

カラスも人が怖いのです。攻撃行動は、子どもを守るための必死の行動です。人が棒などで攻撃すると、いっそう強く応戦します。

○ カラスの幼鳥が落ちている。

カラスは飛ぶ練習をしているだけです。けがをしているわけではありません。親鳥も見守っているので、そのままにしてあげてください。

許可なく、野鳥を捕獲することは、法律により禁止されています。

迷惑だからといって、捕まえたり、卵やヒナを捕ってはいけません。

どうしても、被害の軽減が図れない場合は、動物管理センター分室（06-6978-7710）に有害鳥獣の捕獲許可について御相談ください。

ただし、捕獲許可申請については、その土地の所有者か管理者あるいは依頼を受けた業者が行い、申請者が捕獲することになります。